

SSH 発展探究 第 2 回課題研究指導 報告

◇期 日:令和4年 11 月 18 日(金)5・6限

◇場 所:各部屋(教科別)

◇参加者;2 学年探究科学科 79 名

◇指導者:富山大学の先生方

探究科学科2 学年は、4 月から自分たちのグループでテーマを決めて、研究を進めてきた。今回は、各教科で、それぞれ富山大学の先生方をお招きして、これまで自分たちが研究してきたことについてアドバイスをいただいた。

第1 回課題研究指導が6 月にあり、同じように富山大学の先生方に来ていただき、助言をいただく機会があった。当時は形にもなっていなかったような研究が、今はどのような形になったのかと、興味を持って聞いていただき、前回よりも親密な雰囲気で行うことができた。

ただ、この時点では順調に研究が進んでいる班はほとんどなく、それぞれうまくいかない点やわからない点がたくさんあった。そのため、先生方の話から、何か少しでも手がかりをつかんで、状況を打破したいという思いから、多くの生徒が積極的に質問している姿が見受けられた。

先生方との話を終えた後、参加した生徒からは「悩んでいたが、先生のアドバイスがきっかけとなって、アイデアが大きく膨らんだ」「大学でしか習わないような数学の定理を教えてもらった」などの感想が聞かれた。この指導の後も、自ら富山大学の教授のもとに行き、教えを乞うほど積極的に取り組んでいたグループもあった。

その一方で、「自分の研究を自分の言葉で他人にわかりやすく説明する難しさを感じた」「先生と話していく中で、自分たちの研究のいたらなさを痛感した」という感想もあった。「自分の言葉で説明すること、自分の研究を整理する機会にもなったのではないだろうか。

結果として、どの班も、何らかの刺激を受け、12 月の 3 校合同発表会に向けて、自分たちの方向性を固めるきっかけとすることができた。自分たちは思いもなかった視点や発想を教えていただいた富山大学の先生方に感謝して、これからの研究のラストスパートをかけたい。

